

## (様式第1号別紙1-1)

## 介護職員養成研修課程カリキュラム表（介護職員初任者研修課程）

科(科目)名	内 容	実施計画	科目番号
(1)職務の理解 (6時間)	①多様なサービスの理解	○介護保険サービス（居宅、施設）、○介護保険外サービス	(1)-①
	②介護職の仕事内容や働く現場の理解	○居宅、施設の多様な働く現場におけるそれぞれの仕事内容○居宅、施設の実際のサービス提供現場の具体的なイメージ○ケアプランの位置付けに始まるサービスの提供に至るまでの一連の業務の流れとチームアプローチ・他職種、介護保険外サービスを含めた地域の社会資源との連携	(1)-②
(2)介護における尊厳の保持・自立支援 (9時間)	①人権と尊厳を支える介護	(1) 人権と尊厳の保持 (2) ICF (3) QOL (4) ノーマライゼーション (5) 虐待防止・身体拘束禁止	(2)-①
	②自立に向けた介護	(1) 自立支援 (2) 介護予防	(2)-②
(3)介護の基本 (7時間)	①介護職の役割、専門性と多職種との連携	(1) 介護環境の特徴の理解 (2) 介護の専門性 (3) 介護に関する職種	(3)-①
	②介護職の職業倫理	職業倫理 ○専門職の倫理の意義、○介護の倫理（介護福祉士の倫理と介護福祉士制度等）、○介護職としての社会的責任、○プライバシーの保護・尊重	(3)-②
	③介護における安全の確保とリスクマネジメント	(1) 介護における安全の確保 (2) 事故予防、安全対策 (3) 感染対策	(3)-③
	④介護職の安全	介護職の心身の健康管理 ○介護職の健康管理が介護の質に影響、○ストレスマネジメント、○腰痛の予防に関する知識、○手洗い・うがいの励行、○手洗いの基本、○感染症対策	(3)-④
(4)介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (9時間)	①介護保険制度	(1) 介護保険制度創設の背景及び目的、動向 (2) 仕組みの基礎的理解 (3) 制度を支える財源、組織、団体の機能と役割	(4)-①
	②医療との連携とリハビリテーション	○医行為と介護、○訪問看護、○施設における看護と介護の役割・連携、○リハビリテーションの理念	(4)-②
	③障害者福祉制度およびその他制度	(1) 障害者福祉制度の理念 (2) 障害者総合支援制度の仕組みの基礎的理解 (3) 個人の権利を守る制度の概要	(4)-③
(5)介護におけるコミュニケーション技術 (6時間)	①介護におけるコミュニケーション	(1) 介護におけるコミュニケーションの意義、目的、役割 (2) コミュニケーションの技法、道具を用いた言語的コミュニケーション (3) 利用者・家族とのコミュニケーションの実際 (4) 利用者の状況・状況に応じたコミュニケーション技術の実際	(5)-①

	②介護におけるチームのコミュニケーション	(1) 記録における情報の共有化 (2) 報告 (3) コミュニケーションを促す環境	(5)－②
(6) 老化の理解 (7時間)	①老化に伴うこころとからだの変化と日常生活	(1) 老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴 (2) 老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響	(6)－①
	②高齢者と健康	(1) 高齢者の疾病と生活上の留意点 (2) 高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点	(6)－②
(7) 認知症の理解 (6時間)	①認知症を取り巻く状況	認知症ケアの理念 ○パーソンセンタードケア、○認知症ケアの視点	(7)－①
	②医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	認知症の概念、認知症の原因疾患とその病態、原因疾患別ケアのポイント、健康管理	(7)－②
	③認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	(1) 認知症の人の生活障害、心理・行動の特徴 (2) 認知症の利用者への対応	(7)－③
	④家族への支援	○認知症の受容過程での援助、○介護負担の軽減（レスパイトケア）	(7)－④
(8) 障害の理解 (3時間)	①障害の基礎的理解	(1) 障害の概念とICF (2) 障害者福祉の基本理念	(8)－①
	②障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	(1) 身体障害 (2) 知的障害 (3) 精神障害（高次脳機能障害・発達障害を含む） (4) その他の心理の機能障害	(8)－②
	③家族の心理、かかわり支援の理解	家族への支援 ○障害の理解・障害の受容支援、○介護負担の軽減	(8)－③
(9) こころとからだのしくみと生活支援技術 (75時間)	【ア 基本知識の学習（12.5時間）】		
	①介護の基本的な考え方	○倫理に基づく介護（ICFの視点に基づく生活支援、我流介護の排除）、○法的根拠に基づく介護	(9)－①
	②介護に関するこころのしくみの基礎的理解	○学習と記憶の基礎知識、○感情と意欲の基礎知識、○自己概念と生きがい、○老化や障害を受け入れる適応行動とその阻害要因、○こころの持ち方が行動に与える影響、○からだの状態がこころに与える影響	(9)－②
	③介護に関するからだのしくみの基礎的理解	○人体の各部の名称と動きに関する基礎知識、○骨・関節・筋に関する基礎知識、ボディメカニクスの活用、○中枢神経系と体性神経に関する基礎知識、○自律神経と内部器官に関する基礎知識、○こころとからだを一体的に捉える、○利用者の様子の普段との違いに気づく視点	(9)－③
	【イ 生活支援技術の講義・演習（50～55時間）】		

	④生活と家事	家事と生活の理解、家事援助に関する基礎的知識と生活支援 ○生活歴、○自立支援、○予防的な対応、○主体性・能動性を引き出す、○多様な生活習慣、○価値観	(9)－④
	⑤快適な居住環境整備と介護	快適な居住環境に関する基礎知識、高齢者・障害者特有の居住環境整備と福祉用具に関する留意点と支援方法	(9)－⑤
	⑥整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	整容に関する基礎知識、整容の支援技術 ○身体状況に合わせた衣服の選択、着脱、○身じたく、○整容行動、○洗面の意義・効果	(9)－⑥
	⑦移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	移動・移乗に関する基礎知識、さまざまな移動・移乗に関する用具とその活用方法、利用者、介助者にとって負担の少ない移動・移乗を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法、移動と社会参加の留意点と支援	(9)－⑦
	⑧食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	食事にに関する基礎知識、食事環境の整備・食事に関連した用具・食器の活用方法と食事形態とからだのしくみ、楽しい食事を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法、食事と社会参加の留意点と支援	(9)－⑧
	⑨入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	入浴、清潔保持に関連した基礎知識、さまざまな入浴用具と整容用具の活用方法、楽しい入浴を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法	(9)－⑨
	⑩排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	排泄に関する基礎知識、さまざまな排泄環境整備と排泄用具の活用方法、爽快な排泄を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法	(9)－⑩
	⑪睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	睡眠に関する基礎知識、さまざまな睡眠環境と用具の活用方法、快い睡眠を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法	(9)－⑪
	⑫死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護	終末期に関する基礎知識とところとからだのしくみ、生から死への過程、「死」に向き合うところの理解、苦痛の少ない死への支援	(9)－⑫
	【ウ 生活支援技術演習 (10～12時間)】		
	⑬介護過程の基礎的理解	○介護過程の目的・意義・展開、○介護過程とチームアプローチ	(9)－⑬
	⑭総合生活支援技術演習	生活の各場面での介護については、ある状態像の利用者を想定し、一連の生活支援を提供する流れの理解と技術の習得、利用者の心身の状況にあわせた介護を提供する視点の習得を目指す。	(9)－⑭
(10)振り返り (4時間)	①振り返り	○研修を通して学んだこと ○今後継続して学ぶべきこと ○根拠に基づく介護についての要点	(10)－①
	②就業への備えと研修修了後における継続的な研修	○継続的に学ぶべきこと ○研修修了後における継続的な研修について、具体的にイメージできるような事業所等における実例 (Off-JT, OJT) を紹介	(10)－②

- ※1 実施計画欄に、申請者が実施する研修内容を記載すること。
- ※2 実習を実施するにあたっては、本要綱「14 実習」の内容に留意すること。